

地域で使うエネルギーを、地域の資源を利用して、地域に住む人が自ら作り出していく

エネルギー自立地域づくりへ向けた第一歩として

「内中原太陽光発電所」を開設！

化石燃料や原子力に頼らず、島根の自然資源を活かしたエネルギーを活用する、安全で豊かな地域をつくりたい。そう願う島根県内各地の団体・個人が参加して島根原発・エネルギー問題県民連絡会を結成し、「島根につくろう！！みどりのエネルギー条例」制定運動を行ってきました。

島根県において再生可能エネルギーを広く普及させ、エネルギー自立地域とするために、条例制定運動から発展させた新たな活動を始めることが必要と考え、このたび県民連絡会の地域組織である松江地域連絡会のメンバーが中心となり、任意団体「市民共同発電まつえ」を立ち上げました。モデル事業として「内中原太陽光発電所」の設置を計画しています。これは市民が資金を出しあってつくる、県内初の市民共同発電所となります。今後は他地域のみなさんとも連携して再生可能エネルギー普及や省エネを推進していくための非営利団体設立も準備しており、将来的には「内中原太陽光発電所」をその団体の運営としていくことも予定しています。

化石燃料や原子力を使い続けていると、将来世代である子どもや孫たちが安心してくらしていける豊かな環境を残すことはできません。再生可能エネルギーを利用して地域経済をまわすしくみを作り出し、安心して豊かなくらしをおくることのできる島根をみんなと一緒につくっていきましょう。

2015年2月
市民共同発電まつえ
代表者 保母武彦